

光の形

平面作品の墨絵に続いて、今度は立体に取り組んだ酒井翔太さんです。自由な形に切り取ったスポンジとストローを組み合わせ、作品を作りました。教員との会話から発想をどんどん広げ、楽しみながら作ってくれました。



1回目の授業では、仮組みをしました。様々な形にスポンジを積み上げて、「おでんみたいだな。」「白い焼き鳥みたいです」など、楽しいイメージを膨らませ、また、次の形に挑戦している翔太さんです。

ストローの模様を見るなり「『通行禁止』の棒みたいです。」と、興味をもった翔太さんです。

スポンジに差し込んでみたら、「屋台みたいだ!」これで、作品の方向性が決まったようです。



4隅に支柱を立て、さらにその上にスポンジを載せていくことになりました。

「ストローがロボットの手のように見える!」ここでさらに発想が広がり、完成へとつながっていきました。



スポンジがまだまだ残っているのを見て、「シリーズものにしたいです」と、次回作に意欲的な翔太さんです。次も楽しんで制作してほしいと思います。